

「インフルエンザ予防対策」咳やくしゃみが出るときは、マスクをしましょう。

ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品 Q & A

Q ジェネリック医薬品って何？

A 先発医薬品の特許期間が過ぎると、他の医薬品メーカーも同様の薬の製造販売が可能になります。こうした医薬品の総称がジェネリック医薬品（後発医薬品）です。

Q 何と安いの？

A 先発医薬品の開発が10年〜15年、莫大な開発費用が必要といわれるのに対して、ジェネリック医薬品の開発期間は3年〜5年なので研究費用も低くなります。そのため、薬の価格が安くなるのです。

Q 効き目や安全性は？

A ジェネリック医薬品は先発医薬品と同じ有効成分の薬です。有効性や安全性は確認されています。また、厚生労働省が承認していますので、治療学的にも先発医薬品と同レベルである薬だけが製造販売されています。

Q どのような利点がある？

A ジェネリック医薬品の普及は、患者様のお薬代の負担が軽くなり、医療保険財政の改善にもつながります。

Q ジェネリック医薬品を使用するには？

A 病院や診療所などの医療機関を受診したときに医師に相談するか、調剤薬局で薬剤師に相談してみてください。ただし、薬によってはジェネリック医薬品がない場合があります。

☆国民健康保険の加入者で平成26年7月に処方されたお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合、お薬代の自己負担額がどのくらい減額になるかを示した差額通知を今月発送する予定です。

※一定以上の差額が生じる方のみ通知となります。

▼問い合わせ先
保険課 国保係

☎(56)9134

農業用廃プラスチック等回収 (分別収集)を実施します。

▼日時 11月11日(火)・12日(水) 午前8時〜午後3時

▼内容

11日(火)

- ① 農業用ポリエチレン
- ② グリーン、黒マルチなど
- ③ 灌水チューブ・肥料袋
- ④ ブルーシート(金属部は取除く)・織った肥料袋
- ⑤ 不織布
- ⑥ 防ひょう・防鳥ネット・寒冷紗
- ⑦ 農薬空きボトル・空き袋

12日(水)

- ⑧ 農業用ビニール
- ⑨ 廃パイプハウス
- ⑩ 育苗箱・あぜ波シート
- ⑪ 塩ビパイプ
- ⑫ マイカ線
- ⑬ 土壌消毒用空き缶
- ⑭ オイル空き缶

▼場所 JAうつのみや上三川野菜集荷所(上蒲生378番地)

▼処理負担金

農業用廃プラスチック類、廃パイプハウス
重量負担 15円/kg(100円未満切捨て)
土壌消毒用空き缶
ペール缶 100円/1缶。ただし、小缶は10円/1個。

○オイル缶 20L缶 100円/1缶。
▼その他 委任状が必要になりますので、必ず印かんをお持ちください。(6月に委任状を記入していただいた方も、再度必要になります。)

廃棄物処理法により、野焼きや不法投棄をすると、罰則の対象となります。

▼問い合わせ先

JAうつのみや 上三川野菜集荷所

☎(56)6688

産業振興課 農産園芸係

☎(56)9138

